

# 農林水産業の現場ニーズに対応する技術提案 公募要領

令和元年 10 月 29 日  
農林水産省大臣官房政策課  
イノベーション創出グループ

## 1 公募対象技術等

### (1) 公募対象技術

別添 1～4 の「現場の技術ニーズ一覧」に掲載されたニーズに具体的に対応する、技術・商品・サービス等（以下「技術等」と言う）を募集します。

なお、以下についてご留意ください。

- ・ご提案いただく技術は、必ずしも AI やロボット等の先端技術を活用したものである必要はありませんが、ニーズに対して新規性のあるものとします。
- ・発売前（実証段階等）の技術等であっても、内容に具体性のあるものであればご提案いただけます。
- ・今回の公募における、現場から新たに寄せられたニーズは、別添 1～4 において赤字で記載しておりますので、積極的なご提案をお待ちしておりますが、既存のニーズ（黒字で記載）についても、改めてご提案を募集します。

### (2) 公募対象者

本公募の対象に該当する技術等を開発・販売等する主体であって、農林水産業者等から問い合わせ（メール・電話等）があった場合に、日本語で直接対応できる民間企業や研究機関等から応募可能です。

### (3) ご提案いただいた情報の活用方法

#### ① 「つながる農業技術サイト」への掲載

本要領に沿ってご提案いただいた技術等について、農林水産省で確認の上、農林水産省ホームページ「つながる農業技術サイト」に掲載します（以下「つながる農業技術サイト」<sup>き</sup>と言う、下記参照）。また掲載と同時に、農林水産省プレスリリースによりその旨を周知する予定です。

《「つながる農業技術サイト」URL》

<http://www.maff.go.jp/j/kanbo/needs/need.html#techinfo>

〔※ 現在、林業及び水産業に対応するコンテンツはございませんが、今回のご提案の公表時に開設予定です。〕



## ② その他

現場ニーズに対して特に有効なご提案であると考えられる技術等については、①の他、農林水産省で作成するパンフレット等への掲載等により、対外的な説明における引用等を実施させていただく場合があります（引用等の際し、特に必要と判断されない限り、断りなく実施させていただく場合がありますので、予めご承知おきください）。

また、農林水産業者等と技術提案者が直接に対話する場である「マッチングミーティング」へのご出展をお願いする場合があります。

## （４）掲載を見送らせていただくもの

ご提案いただいた技術等は原則として全て（３）の通りホームページに掲載しますが、以下に該当するものは、断りなく掲載を見送らせていただく場合があります。また、その理由についてはお答えできませんので、予めご承知おきください。

### 《掲載を見送らせていただくご提案》

- ・ 本公募要領に沿ったご提案となっていないもの
- ・ ご提案内容が具体的ではないもの
- ・ ご提案内容がニーズに対応していないもの
- ・ 現場へ示す情報として、必要十分な情報が示されていないもの
- ・ その他、本公募の趣旨にそぐわないもの

## （５）その他

以下について、予めご承知おきください。

- ・ 2以下に示す提出書類については、様式1を除き、基本的にそのままホームページ掲載等により公表しますので、記載内容（特に、関係者との調整や、非公表情報の掲載の可否など）については予め十分にご確認ください。
- ・ 内容確認等のため、必要に応じ個別にご連絡させていただく場合があります。
- ・ 本公募は、技術の優劣等を評価するものではありません。
- ・ 事務局の判断により、内容を改変しない範囲で、掲載資料の軽微な修正（体裁の整理等）を実施させていただく場合があります。
- ・ 昨年の公募時にご提案いただき、現在ホームページに掲載されている技術等についても、本公募要領に従い、時点更新等を行っていただいた上で再度ご提出いただけます（その場合は、既にご提出いただいている添付資料等を含め、必要書類一式を再度ご提出いただくほか、ご提出時にメール本文にその旨を明記してください）。
- ・ 「マッチングミーティング」については、各回ごとに設定されるテーマ（品目

や技術分野等) や地域性 (地方マッチングミーティングの場合) 等を考慮して  
ご出展企業を決定させていただきますので、本要領に沿ったご提案であって  
も、ご出展をお約束するものではありません (ご出展をお願いする際には、個  
別にご連絡いたします。)

## 2 提出書類

### (1) 様式1 (応募整理表) <必須>

- ・記入例や、「記載上の留意事項」欄をよくご確認の上、ご記入ください。
- ・エクセル形式のままでご提出ください。
- ・本様式は農林水産省内の整理用のものであり、公表は行いません。
- ・ファイル名は、必ず以下の通りとしてください。

《様式1 ファイル名のルール (青字の部分を書き換えてください)》

【様式1 : 整理表】 **コード番号**<会社名等><提案技術名>

《ファイル名の例》

【様式1 : 整理表】 R-(1)-1-1<(株) 農林水産開発><搾乳牛管理システム>

### (2) 様式2 (公表資料) <必須>

- ・記入例や、「記載上の留意事項」をよくご確認の上、ご記入ください。
- ・パワーポイント形式のままでご提出ください。ただし、PDF形式に変換した  
ときに、2MB以内となることを確認してください (それ以上ですとシステムの  
都合上掲載できません)。
- ・本資料は農林水産省でPDF形式に変換した上でホームページに掲載します。
- ・ファイル名は、必ず以下の通りとしてください。

《様式2 ファイル名のルール (青字の部分を書き換えてください)》

【様式2 : 公表資料】 **コード番号**<会社名等><提案技術名>

《ファイル名の例》

【様式2 : 公表資料】 R-(1)-1-1<(株) 農林水産開発><搾乳牛管理システム>

### (3) 様式3 (当該技術等の活用事例) <任意>

- ・本様式のご提出は任意ですが、現場での活用事例がある場合は、ぜひご提出  
ください。
- ・本様式に掲載する事例は、生産現場で活用した実績としてください (実証段階  
のものでも支障ありませんが、あくまで生産農家等の現場での活用実績とし、実  
験農場での栽培試験等に留まるものは不可とします)。

- ・記入例や、「記載上の留意事項」をよくご確認の上、ご記入ください。
- ・パワーポイント形式のままでご提出ください。ただし、PDF形式に変換したときに、2MB以内となることを確認してください（それ以上ですとシステムの都合上掲載できません）。
- ・本資料は農林水産省でPDF形式に変換した上でホームページに掲載します。
- ・ファイル名は、必ず以下の通りとしてください。

《様式3 ファイル名のルール（青字の部分を書き換えてください）》

【様式3：事例】 **コード番号**＜会社名等＞＜提案技術名＞

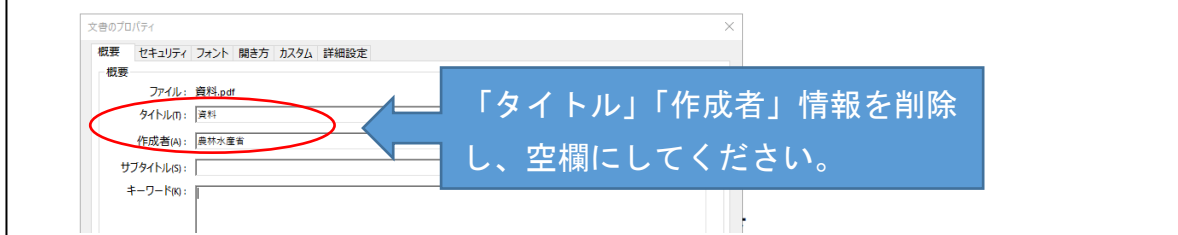
《ファイル名の例》

【様式3：事例】 R-(1)-1-1＜（株）農林水産開発＞＜搾乳牛管理システム＞

#### （4）その他の添付資料等＜任意＞

- ・様式2、3以外の資料や参考となるURLについては、ご希望があれば合計4件までホームページに掲載可能です。
- ・その場合、掲載する資料は必ずPDF形式とし、各ファイルのサイズは2MB以下としてください（それ以上ですとシステムの都合上掲載できません）。
- ・PDFファイルを掲載する際は、送付する前に必ず作成者情報を削除してください（※下記参照）。また、資料のファイル名は、掲載順に「1」「2」「3」「4」（半角数字）としてください。
- ・様式1の該当する欄に、必要情報を記入してください。

※ PDFファイルの「ファイル」→「プロパティ」から開く以下のウインドウの「タイトル」「作成者」欄に記載された情報を削除し、空欄としてください。



### 3 提出方法

#### （1）提出方法・提出先

下記アドレス宛てに、令和元年11月29日（金）17時まで（必着）にご提出ください。

《提出先》

Innovation\_group@maff.go.jp

## (2) ご提出にあたっての留意事項

- ・ メール以外でのご提出は、受け付けません。
- ・ 複数の技術等をご提案いただく場合は、それぞれ別のメールにてご提出ください。
- ・ ご提出いただくメールの件名は、必ず下記の例の通りにしてください。

《メール件名のルール（青字の部分を書き換えてください）》  
【技術応募】 **コード番号**<会社名等><提案技術名>

《メール件名の例》  
【技術応募】 R-(1)-1-1<（株）農林水産開発><搾乳牛管理システム>

## 4 お問い合わせ先

お問い合わせがございましたら、以下にご連絡ください。

農林水産省 大臣官房 政策課 イノベーション創出グループ  
担当：田島、川上、表谷（ひょうたに）、栗野  
TEL 03-6744-0494（直通）（対応時間：平日 9:30～18:15）  
アドレス Innovation\_group@maff.go.jp